

小松基地・空港対策特別委員会開催状況

1. 日 時 平成 28 年 3 月 14 日 (月)
午後 1 時 30 分 開会
午後 2 時 18 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 灰田昌典委員長、川崎順次副委員長、新田寛之委員、梅田利和委員、
片山瞬次郎委員、宮川吉男委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
 - (1) 調査事項
 - ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について
 - (2) 報告事項
 - 【飛行場課】
 - ・ 平成 28 年度飛行場課事業の概要について
 - ・ 新田原基地での市職員による小松市紹介について
 - 【観光交流課】
 - ・ 平成 28 年度空港関係事業の概要について
 - ・ 空港活用型地域交流促進事業について
 - ・ 台北チャーター便について
6. 委員長報告の要旨

先の定例会で、継続調査の議決をいただきました「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査について、閉会中も調査を続けてまいりましたので、本委員会での意見及び議論について、ご報告申し上げます。

はじめに、在日米軍再編に係る訓練移転についてであります。

3月7日（月）から18日（金）にかけて、米軍再編に係る岩国航空基地から小松基地への訓練移転が行われました。規模は、タイプⅡで米軍からF A－18戦闘機6機、人員70名程度、航空自衛隊からF－15戦闘機6機程度が参加し、小松沖空域において、戦闘機戦闘訓練等が実施されていることが報告されました。今回で8回目となる小松基地への訓練移転においては、小松飛行場周辺整備協議会、近畿中部防衛局、小松市による騒音測定、飛行経路の確認が行われましたが、共に特段の問題はなく、協定等が遵守されていることが確認できております。

なお、12日（土）には、木場潟公園において、今回の訓練に参加した米軍海兵隊員約35名と航空自衛隊員約50名による奉仕作業が行われたとのことでもあります。今後とも地域への貢献活動等を通して、基地との共存共栄を図っていくよう期待するものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事柄であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めたものであります。

つぎに、飛行教導群の新田原基地から小松基地への移動についてであります。

平成28年第1四半期に予定されている飛行教導群の小松基地への移動にあたり、去る3月8日（火）に小松市から飛行場課、こども家庭課、観光交流課の職員各1名が新田原基地を訪れ、小松市の紹介を行ったとのことでもあります。また、事前に聴取した隊員やその家族からの生活や子育て等に関する質問についても、丁寧な回答により不安の払拭に努めてきたとのことでもありました。

今回、小松基地への異動が予定されている隊員の中には、小松基地に勤務歴のある隊員も多数含まれているとのことでもあります。全ての隊員とその家族が安心して小松市に転居し、生活していけるよう、今後も引き続きバックアップしていくよう求めたものであります。

最後に、台湾チャーター便についてであります。

4月15日（金）から5月31日（火）にかけて、台北－小松間のチャーター便を毎日運行し、同期間は、定期便とあわせ、1日2往復の運行体制となるとのことでもありました。

台北便については、現在も高い搭乗率を維持し、需要が高い路線ではありますが、特に運行ダイヤについては改善の余地が大きいことも事実であります。利用者の利便性向上のためにも、今後も継続的に要望活動を実施していくよう求めたものであります。

以上、本委員会の「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査は、重要かつ長期にわたるものであり、閉会中も引き続き調査研究すべきものと決した次第であります。